

2018年理学部祭報告

理学部同窓会代表幹事 有馬 一成

昨年の鹿大祭から、毎年恒例だったみこしパレードが中止になりました。私自身、在学中に2度みこしを担ぎました。いい思い出でもある反面、少なからず多くの方々に迷惑をかけたことも反省しています。

さて、学生だけが盛り上がるだけの色彩が強かった鹿大祭ですが、私が鹿大の教員として学生生活委員をしていた10年ほど前に「理学部祭」を本格的にスタートさせました。理学部祭として、お客さんに楽しんでもらうためにどうすればよいか学生と話し合っ、各学科の得意分野を活かした実験企画をすることに落ち着きました。それから10年が経ち、今年は各学科から10の企画が提供されました。企画の内容は以下の通りです。

数理情報：ミステリーアドベンチャー（パズルやゲームの世界） 物理科学：ガリガリトンボを作ろう、液体窒素で遊ぼう、手作りプラネタリウムで天の川を探そう 生命化学：自分で作れる手作り石けん&入浴剤、スライムでスマイル、インスタ映えするキャンドル、葉脈のしおりをつくろう 地球環境：葉っぱを銀色にメッキしよう、干潟について学ぼう

どれも面白そうなテーマで、どの企画も親子連れでいっぱいでした。理科を好きになるための第一歩は好奇心です。実験に参加している子どもたちの目はどれも生き生きしていて、このまま興味を持ち続けてくれれば日本の将来も安泰でしょう。また、鹿大祭と同時に開催された秋のオープンキャンパスには、25名の受験希望者が参加して盛況でした。

そのような訳で今年もみこしパレードのない鹿大祭ではありましたが、アカデミックな雰囲気の新しい鹿大祭の歴史を作っていただろうよう、学生諸氏には大いに期待しています。

(1)



(2)



(3)



写真 (1) 理学部祭受付 (2) スライムづくりの様子 (3) 秋のオープンキャンパス会場